

Reuse (再使用) 事例



徹底した廃棄物分別による 排出量削減

メーカーリサイクルの積極的活用

2 3 品目にわたる分別の徹底

ロジスティクス計画と連動した合理的
分別ルールの方策

責任範囲の明確化とルールの徹底運用

STEP1 分別品目の選定

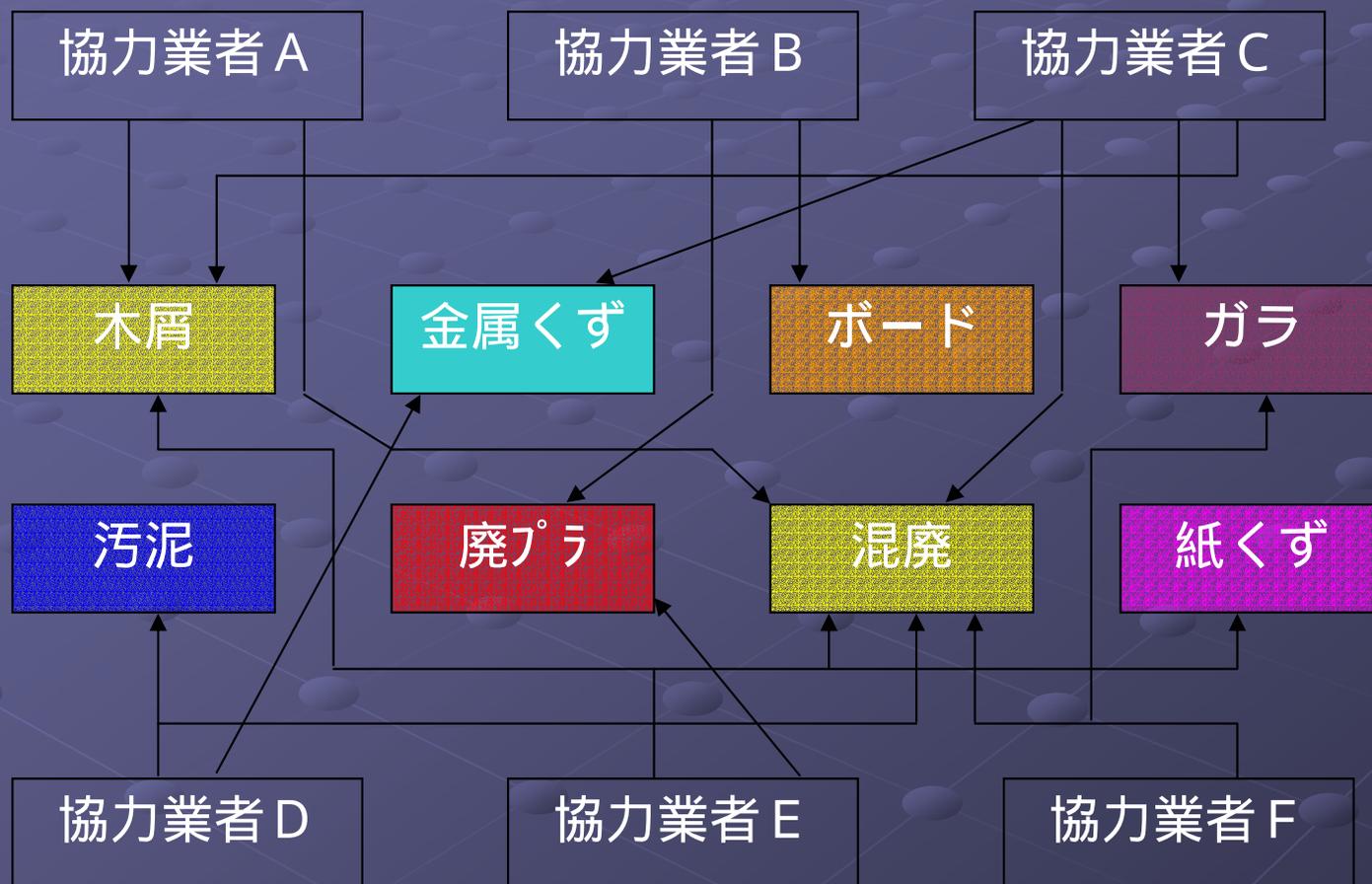
● 現場でゴミをどう分けるかではなく
受け入れ先がいくつ選択できるかが問題

- 1 メーカーリサイクルのリサーチ
- 2 収集運搬業者能力のリサーチ
- 3 それぞれの資格、単価のリサーチ

管理部門の協力が不可欠

STEP 2 分別ルールの方定

● 分別品目が増加 処理が困難



収集場所の管理と
ルール周知が難しい!

図-3 従来の廃棄物分別図 (分別するほど混乱する)

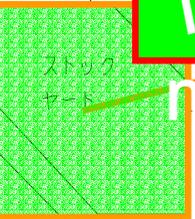
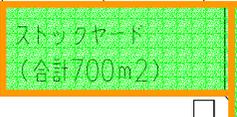
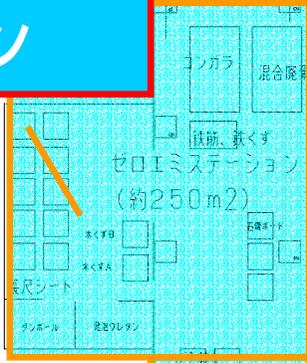
STEP 3 フィールド計画

ゼロエミステーション

2号EV

資材ストックヤード(700)

- その他塩ビ
- 磁質塩ビ
- タイルカーペット
- 壁クロス
- 紙袋、セメント袋



立体駐車場

1号EV

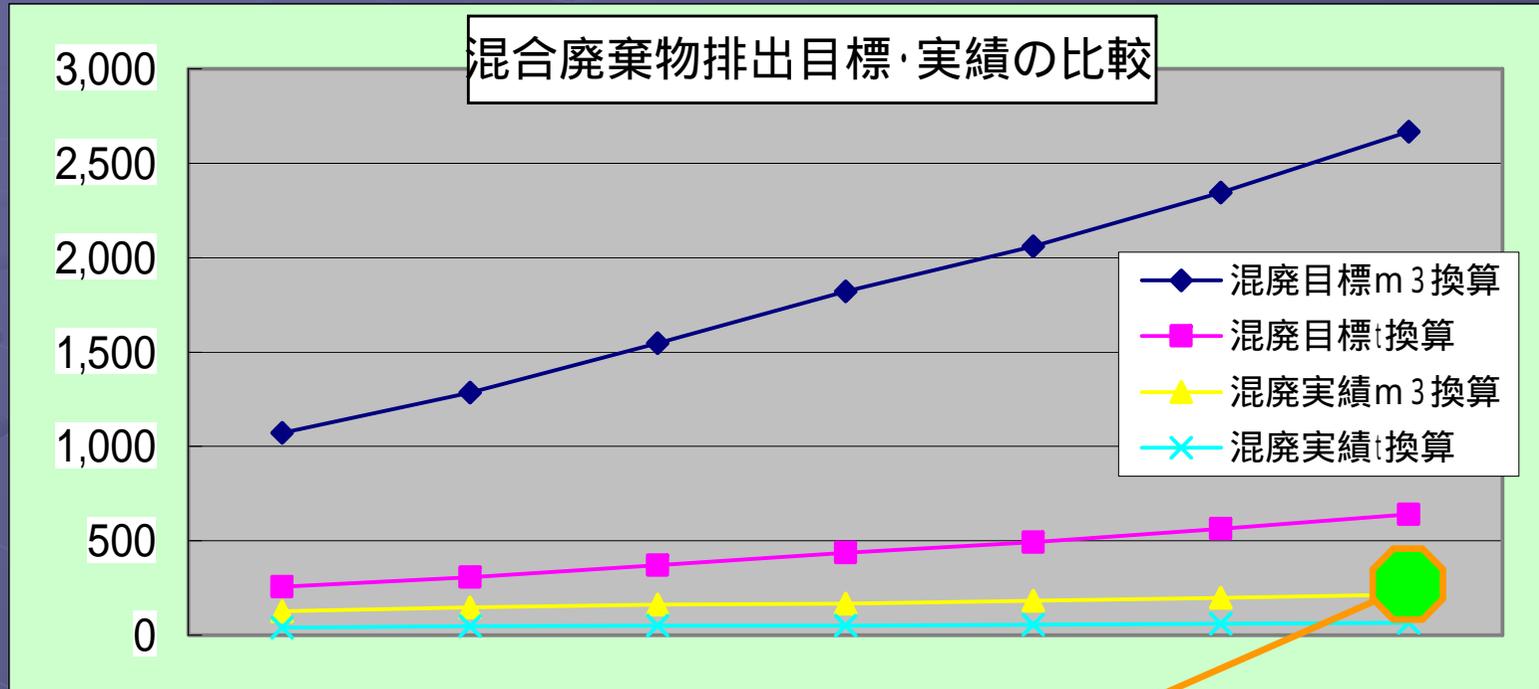
建物内は広くても、使えるスペースは限られてしまう

この狭いスペースで
23品目を管理

現場ロジスティック方針

- 1 搬入は1フロア単位 余剰搬入物は禁止
- 2 ゴミは搬入の帰りの便で降ろす
(ゴミ降ろしの時間は基本的に設けない)
- 3 搬入は部屋までの間配りを前提
- 4 人の昇降は時間帯限定
- 5 搬入、搬出(ゴミ含)は全て揚重申込書による管理

実績) 混合廃棄物の削減



混廃設備 (13.6 /m ²)	予想量の1/10				H17.10	H17.11	H17.12
					混廃目標	1,071	1,285
t換算	257	308	371	437	494	563	640
混廃実績値	127	148	162	167	183	198	215
t換算	40	47	51	52	57	62	67